

研究指導の概要

■理工学研究科

【課程：博士前期課程（工学系、数理情報システム専攻）】

学年	学期	研究内容及び指導方法等
1 年次	前期	・新入生オリエンテーションで博士前期課程の履修・研究スケジュールについてのガイダンスを受ける。 ・指導教員・所属研究室を決定し、指導教員や関連教員とのディスカッションを通して修士論文の研究課題を決定する。また、研究計画書を作成する。 ・日本学術振興会「科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－」を通読し、研究公正・研究倫理について学ぶ。 ・大学院基盤教育科目の授業を履修し豊かな人間力を涵養する。 ・大学院基礎専門科目の授業を履修し知の総合的推進力を身につける。 ・高度専門科目の授業を履修し専門的知識・技能を深化させる。 ・修士論文に関連する文献調査などを行い、研究の位置づけおよび研究視点や方法を深化させる。 ・修士論文に関する研究を行い、その結果について発表および討議を行うことによって研究を推進させる。
	後期	・大学院基礎専門科目の授業を履修し知の総合的推進力を身につける。 ・高度専門科目の授業を履修し専門的知識・技能を深化させる。 ・修士論文に関連する文献調査などを行い、研究の位置づけおよび研究視点や方法を深化させる。 ・修士論文に関する研究を行い、その結果について発表および討議を行うことによって研究を推進させる。 ・指導教員より修士論文執筆に向けての研究指導を受け、専門科目や修士論文の研究に関わる授業科目・演習科目を履修し執筆に向けた準備を進める。 ・可能であれば、修士論文に関するテーマについて、学会発表や査読付き学術雑誌等への投稿を行い掲載を目指す。
2 年次	前期	・1年次の進捗状況を踏まえ、研究計画書を作成する。 ・修士論文に関連する文献調査などを行い、研究の位置づけおよび研究視点や方法を深化させる。 ・修士論文に関する研究を行い、その結果について発表および討議を行うことによって研究を推進させる。 ・指導教員や関連教員より修士論文執筆に向けての研究指導を受け、専門科目や修士論文指導関係の授業を受講し、修士論文の研究課題や論文構想を具体化し、執筆を始める。 ・可能であれば、修士論文に関するテーマについて、学会発表や査読付き学術雑誌等への投稿を行い掲載を目指す。
	後期	・指導教員の指導の下、論文題目を決定し、所定の様式により提出する。 ・専門科目や修士論文指導関係の授業を受講し、指導教員や関連教員の指導を受けつつ修士論文の執筆を進め、完成させる。 ・修士論文を提出する（3月修了の場合は2月10日まで。9月修了の場合は8月10日まで）。 ・公聴会において、修士論文について発表する。 ・論文審査委員より、修士論文の審査及び最終試験を受ける。 ・修了に必要な単位を全て修得していることを確認する。 ・修士論文の審査及び最終試験に合格し、かつ修了に必要な単位を全て修得していることが確認された場合、学位が授与される。